



ひろげようHMネット – 参加施設の声 –

INTERVIEW

ほっと・はあとステーションでのひら 越部 恵美 所長

呉圏域の訪問看護ステーションにおける HM-Boxを利用した情報連携について

●呉圏域におけるHM-Boxの活用について教えてください

現在、呉圏域では、HM-Boxを呉市行政との連携、また訪問看護ステーション間での連携などに活用しています。

●呉市行政との連携では、具体的にどのような場面で使われているのでしょうか

生活習慣病重症化予防プログラムや骨粗しょう症受診勧奨事業に訪問看護が参画しており、対象者の情報等や面談後の指導報告書等の書類は、機密性の高いHM-Boxを利用することで、郵送の手間や窓口へ持参する時間が省け、効率的に連携できています。



●訪問看護ステーション同士の連携ではどのように使われているのでしょうか

訪問看護ステーション間では、印鑑不要で相互に共有しなければならない書類（1人の利用者に2カ所のステーションが関わっている場合の訪問看護計画書・報告書等）も、HMネットに参加している事業者間であれば、HM-Boxを活用することで、郵送や持参する時間が省け、業務の効率化が図れています。

●他にも便利な使い方がありますか

研修資料等、容量の重いデータも問題なく送信できるため、メールで送信できないような容量の大きい資料の共有等にも役立つと感じています。

●逆に、課題に感じていることがあれば教えてください

HMネットにまだ参加していない事業所が多い点です。そのため、実際の連携件数がなかなか増えていないのが現状です。また、事業所によっては他の機密性の高いシステムをすでに使っていて、HM-Boxの利用予定がないという声もあります。HM-Boxは双方が活用することで真価を発揮するので、今後は活用の場面やメリットについて、さらに検証しながら取り組んでいくことが必要であると考えます。

●今後の展望についてはいかがでしょう

ICTが深化していく中で、HMネットを活用することで可能になる効果的な連携に期待しています。今後もHM-Boxを通して、より効果的な取り組みを見出していけたらと思っています。

ほっと・はあとステーションでのひら

〒737-0125 広島県呉市広本町1丁目7番40号

TEL 0823-36-7284